

同時資料配布先：

経済産業記者会

学研都市記者クラブ

2026 年 10 月 23 日

公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

革新的環境技術シンポジウム 2026
～2050 年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～
開催のご案内

地球環境産業技術研究機構は、2026 年 12 月 9 日（水）に日経ホールにおいて、当機構が取り組む研究開発について報告するシンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは理事・研究所長の下田吉之が基調講演を行い、各研究グループからは最新の研究成果を報告します。また、招待講演として経済産業省大臣官房審議官（GX グループ担当）の上野麻子様にご登壇いただきます。また、講演と並行してポスターセッションも開催し、当機構の研究者とお話しいただける場も設けております。

地球温暖化問題やその対策技術に取り組まれている研究者や技術者の皆様をはじめ、ご関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしています。

1. 開催趣旨

地球環境産業技術研究機構は、地球温暖化対策における中心課題である CO₂ 削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてきました。

本シンポジウムは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、最新の研究成果を広くご報告することを目的として開催します。

2. 開催概要

主 催： 公益財団法人 地球環境産業技術研究機構（RITE）

後 援： 経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、

（予定） 公益社団法人 日本農芸化学会、一般社団法人 エネルギー・資源学会、

一般社団法人 日本エネルギー学会、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

日 時： 2026 年 12 月 9 日（水） 13：00～17：25 （会場受付、ポスターセッション開始 12:30）

会 場： 日経ホール（東京都千代田区）および、Web 配信

参加費： 無料

プログラム（敬称略）：

- ・ 招待講演：COP31 と GX 政策について
経済産業省 大臣官房審議官（GX グループ担当） 上野 麻子
- ・ 基調講演：気候変動問題の現在地
RITE 理事・研究所長 下田 吉之
- ・ 講演 1：EDITS プロジェクト：デジタルを活用した需要側対策の役割と展望
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- ～ 休憩（ポスターセッションを開催）～
- ・ 講演 2：資源循環型社会と産業競争力の向上に貢献するバイオものづくり技術の開発
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- ・ 講演 3：カーボンニュートラル達成に貢献する分離回収技術開発への RITE の取り組み
化学研究グループリーダー 余語 克則
- ・ 講演 4：CO₂貯留技術の実用化へー海外サイトの現場実証成果紹介ー
CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求

<ポスターセッション>

12:30～16:00 まで、ご自由にポスターをご覧ください。

説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。

（詳細はリーフレットを参照願います。）

3. 参加登録

RITE ウェブサイト <https://www.rite.or.jp> よりお申し込みください。

4. プレス登録

取材を希望される報道関係の方も、事前に参加申込みをお願いいたします。やむを得ず当日受付となる場合は、本人確認のため名刺をご持参ください。

本件に関するお問合せ先：

（公財）地球環境産業技術研究機構 企画調査グループ 広報・産業連携チーム

TEL：0774-75-2301

革新的環境技術シンポジウム 2026

～ 2050 年カーボンニュートラルを支えるイノベーション～

2026年 **12月9日** **水** 13:00～17:25 (受付開始 12:30)

日経ホールおよび Web 配信 (ハイブリッド開催)

入場無料

主催：公益財団法人 地球環境産業技術研究機構

後援：経済産業省、公益社団法人 日本化学会、公益社団法人 化学工学会、公益社団法人 日本農芸化学会、

(予定) 一般社団法人 エネルギー・資源学会、一般社団法人 日本エネルギー学会、公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会

SCOPE

京都議定書発効から 20 年、パリ協定採択から 10 年の節目となった昨年の COP30 は、「実装の COP (Implementation COP)」と位置づけられ、炭素価格の重要性を国際的に認める宣言が採択さるなど、世界全体で 1.5℃目標達成に向けた取組を継続することが再確認されました。国内でも、CCS が民間事業開始への進行ステージを迎えていることや、本年度からの GX リーグの排出量取引制度 (ETS) の本格運用開始など、今後もカーボンニュートラルに向けた研究開発や実用化への期待は高まっています。

こうした期待に応えるべく、当機構は設立以来、抜本的な CO₂ 削減を実現するための革新的エネルギー・環境技術の研究開発を推進するとともに、地球温暖化対策シナリオを作成して政策提言につなげてまいりました。本シンポジウムでは、国際的な温暖化対策の情勢を踏まえながら、全グループの最新の研究成果をご報告いたします。



プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00～13:05 開会挨拶 理事長 山地 憲治
- 13:05～13:35 招待講演 **COP31とGX政策について**
経済産業省 大臣官房審議官（GXグループ担当） 上野 麻子
- 13:35～14:05 基調講演 **気候変動問題の現在地**
理事・研究所長 下田 吉之
- 14:05～14:45 講演 1 **EDITSプロジェクト：デジタルを活用した需要側対策の役割と展望**
システム研究グループリーダー 秋元 圭吾
- 14:45～15:20 休憩 **ポスターセッションを開催**
- 15:20～16:00 講演 2 **資源循環型社会と産業競争力の向上に貢献するバイオものづくり技術の開発**
バイオ研究グループリーダー 乾 将行
- 16:00～16:40 講演 3 **カーボンニュートラル達成に貢献する分離回収技術開発へのRITEの取り組み**
化学研究グループリーダー 余語 克則
- 16:40～17:20 講演 4 **CO₂貯留技術の実用化へー海外サイトの現場実証成果紹介ー**
CO₂貯留研究グループリーダー 薛 自求
- 17:20～17:25 閉会挨拶 専務理事 本庄 孝志

ポスターセッション

- 12:30～16:00 ご自由にポスターをご覧ください。説明員もおりますので、お気軽にご質問ください。



ACCESS

日経ホール（日経ビル3階）

地下鉄「大手町駅」下車 C2b 出口直結

- 東京メトロ
千代田線「大手町駅」神田橋方面改札より徒歩2分
丸の内線「大手町駅」サンケイ前交差点方面改札より徒歩5分
半蔵門線「大手町駅」皇居方面改札より徒歩5分
東西線「竹橋駅」4番出口より徒歩2分
- 都営地下鉄
三田線「大手町駅」大手町方面改札より徒歩6分

お申し込み

RITEウェブサイト

<https://www.rite.or.jp> より

お申し込みください。

※定員になり次第、参加申込を
締め切らせていただきますので予めご了承ください。

